Seven Generations

2018(平成30)年度
第1四半期活動報告書

（2018(平成30)年1月1日～2018(平成30)年3月31日）

2018年5月15日

特定非営利活動法人
セブン・ジェネレーションズ

Copyright @ Seven Generations. All Rights Reserved.

セブン・ジェネレーションズ（SG）とは？

Mission

わたしたちは持続可能で公正な未来を実現するために、目覚め続ける世界市民のコミュニティを育みます。

Value

1.人

この活動に参加するすべての人を尊重します。そして参加しないすべての人も尊重します。目指すビジョンを実現するのは人。かけがえのない人と人がここに集い、この活動がはじまりました。

2.つながり

すべての存在とのつながりを感じます。自分につながるすべての人。生きとし生けるもの。身の回りにある道具。自分が食する食べ物。そして地球。すべてのものとのつながりに思いを馳せます。

3.対話

心を開いて対話することを実践します。お互いの心の中にある声に耳を傾け、お互いの人そのものに興味を持って言葉を紡ぎ合います。

4.プロセス

プロセスを大切に扱います。今、そこに葛藤があったとしても、プロセスを丁寧に踏むことで未来への智慧が見つかります。そしてその智慧の中から結果が自ら姿を現すことを信じます。

5.オープン

この活動の場はすべてオープンなスペースです。つまりこの場への出入りは自由であり、安心してそれぞれの想いに沿って活動・発言ができる自由があります。そして、この場にある智慧、情報、出来事は場の外に向けても開かれています。

6.問い

常に問いを持ち続けます。言葉を手にした瞬間から「思い込み」がはじまります。さらに問いを持ち、言葉を更新し続けること。言葉にならないものに問いかけ、言葉にしていくことに挑戦します。

7.体現

わたしたちは、わたしたちの願いを体現する集まりです。外に求めるだけでなく、謙虚に自分達のビジョンを自分達で示すことを意図して活動します。

Copyright @ Seven Generations. All Rights Reserved.

目次

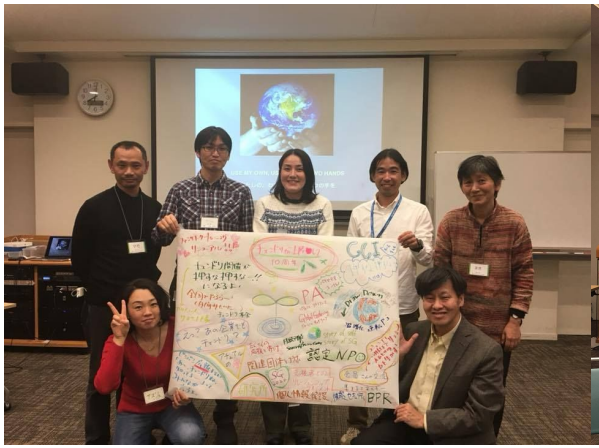
1. 2018年度総会の開催 ・・・ 3ページ
2. 退任理事のご挨拶 ・・・ 4ページ
3. 新理事紹介 ・・・ 5ページ
4. チェンジ・ザ・ドリーム　シンポジウム開催 ・・・ 6ページ
5. ゲームチェンジャー・インテンシブ（GCI）日本語版 ・・・ 7ページ
6. セブン・ジェネレーションズ参加イベント ・・・ 8ページ
7. 会員、その他の動向 ・・・ 9ページ
8. 最後に ・・・10ページ

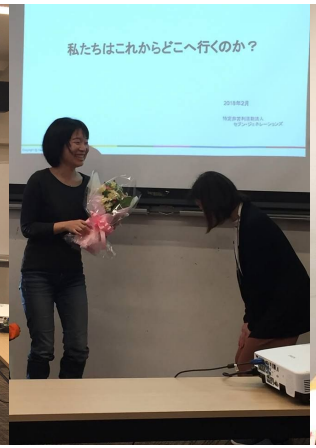
Copyright @ Seven Generations. All Rights Reserved.

1. 2018年度総会の開催

2月11日、東京都世田谷区がやがや館にて、NPO法人セブン・ジェネレーションズの総会を開催しました。正会員70名のうち46名（委任状23名含む）の出席があり、総会は成立しました。
今回の総会にて、理事の鳥谷部 愛（Love）と丸山 まゆみが退任し、代表理事の宇佐見 博志（ひろ）が重任、新任6名を含む7人が新理事となりました。新理事は、宇佐見 博志@ひろ（重任）、桑原 康平@サウル（新任）、小泉 正信@しんしん（新任）、佐藤 さわ@さわ（新任）、関口 守@マモ（新任）、田嶋 真紀@マキ（新任）、野崎 安澄@あずみ（新任）の7名です。また由佐 美加子、大山 裕之には引き続き監事を担っていただくことになりました。合わせて、会計は、秋山 紀子（のんたん）が退任し、磨井 敦子（あっちゃん）が新任しました。

引き続いて行われたお楽しみ会では、「源につながる」をテーマに、『アチュアルの夢』の上映会と対話の会を行いました。
そして、その後行われた懇親会では、持ち寄りとケータリング、マモさんのウクレレやしょごちゃん、こんちゃんのギターに合わせて歌を歌う場面も。なごやかで楽しい場になりました。
今回新しい試みとしてオンライン（Zoom）を用いハイブリッド形式での総会としました。会場とオンライン上でテクニカルサポートをしてくださった大隅さん、松本さん、金澤さん、ありがとうございました。また事前準備や当日のサポートをしていただいたみなさん！本当にありがとうございました！
2018年は、チェンジ・ザ・ドリームシンポジウムが日本で初開催されて10年目を迎えます。様々な活動をしていきます。これまでのように、変わらぬパートナーシップを、どうぞよろしくお願いします！





Copyright @ Seven Generations. All Rights Reserved.

2.退任理事ご挨拶

▼丸山 まゆみ

この度、理事を退任することになりました。お礼の言葉として、この機会に私の考えるこのコミュニティの素敵なところをお話しします。
まずは、“源が一緒である”“違う”人たちの集まりということです。“違う”からこそ、簡単に前に進まないことも多いですが、“源は一緒”なので、迷いながらも行くべきところに行きつく安心感があります。次にコミュニティ自体がイキイキした生命体であるということです。その証拠に、ここに関わる人は、古株や新星、身近な人、遠くから見守っている人など、距離感はマチマチにも関わらず、ある日突然コミュニティのど真ん中に躍り出たり、自然な形で卒業して行ったり。みずみずしい新陳代謝が起こっております。
最後になりましたが、退任にあたり、温かいお言葉を数々いただきまして感動しております。お言葉に応えるべく羽ばたいてまいります。

▼鳥谷部 愛

さて私こと、鳥谷部愛は、2018年2月末をもちまして、NPO法人セブン・ジェネレーションズの理事を退任いたしました。
2013年の夏、次女を産む直前に本棚にあった『ソウル・オブ・マネー』(リン・ツイスト著)を手にとって感銘を受けてから、たくさんのシンクロニシティに導かれ、リン来日プロジェクトに関わり、アマゾン熱帯雨林を訪れ、理事として経営をしてきました。
この間にセブン・ジェネレーションズの活動を通して素晴らしい友人たちにもたくさん出会い、多くの学びを得ました。みなさまからの厳しくも暖かい応援の言葉に、いつも励まされていました。チェンドリの中にも出てくる、リン・ツイストの言葉で私が大好きなものがあります。

～～～～～～～～～～～～～～
私たちは皆、何らかの役割を持っています。その役割に優劣はなく、ただその人らしい役割があるだけです。自分の役割を果たしさえすれば、ずっと探し求めてきた人生の意味が見出せるはずです。
～～～～～～～～～～～～～～

ただ私が私らしくありさえすればよいのだということを、このメッセージはいつも思い出させてくれます。
今後は、夫と共にお互いのビジョン実現をサポートし合える夫婦でいるためのコンセプト『学習する夫婦』を広める活動をします。また、今の資本主義社会は男性的なパワーの翼を使って発展してきていますが、使われていなかったもう一つの翼である女性的なパワーを花開かせるという意味で、ママや女性のエンパワーメントをしていくつもりです。そして、さらに理事を退任して空いたスペースには長女の小学校のPTA会長という仕事も舞い込んできて、新たな私らしい役割を果たしていくことになりそうです。
自分が充足する生き方を選択する大切さをNPO法人セブン・ジェネレーションズの活動は教えてくれました。これからも当団体にはパートナーとして関わっていきますが、みなさまの変わらぬご支援をどうぞよろしくお願いいたします。私もあなたも、みんなが自分らしい役割を果たし、充実した人生を送れますように。ありがとうございました！

Copyright @ Seven Generations. All Rights Reserved.

3.新理事紹介

▼宇佐見 博志

2015年2月に代表理事に就任し、今年で4年目になります。「地球上の全ての人が、環境的に持続可能で、社会的に公正で、精神的にも充足した生き方を実現すること」というチェンジ・ザ・ドリームシンポジウム（チェンドリ）の目的に向けて、チェンドリ10周年という節目の年に、新しい仲間の理事たちと自らの命を使っていきます。どうぞよろしくお願いします。

▼桑原 康平

昨年まではトレーニングプログラムリーダーとしてお世話になりました。

チェンジ・ザ・ドリームシンポジウム10周年のこの年に新たに理事としてこのコミュニティに貢献できることを有難く感じています。

今年からは副代表理事、トレーニングリーダー、研究員として、改めてよろしくお願いします。

▼小泉 正信

みなさま、はじめまして、小泉正信（通称：しんしん）と申します。ご縁があってチェンドリに参加し、理事となりました。自分自身の人生の目的とも重なる活動なので、歓びを感じながらこの役割を担っていきたいと思います。そして、次の方にこの松明を手渡すまで、明々と燃やし続けていきますね。よろしくお願いします。

▼佐藤 さわ

2016年に初めてチェンドリに参加してから、ここまであっという間でした！チェンドリのプログラムが大好きです！遠隔地在住のため、オンラインでのさまざまな取り組みを推進することのお手伝いができればと考えています。よろしくお願いします。

▼関口 守

昨年までは、自分が理事に手を挙げることは考えていませんでした。しかし、自分の中でSGの活動を本当に自分ごととして捉えて行きたいと考えて、今回理事に加えていただきました。2016年に独立した時の決意は「チェンドリ的なことを生業として生きていくこと」。SGでの務めが、やがて仕事としても成立していくような取り組みができたらいいなと思っています。よろしくお願いします。

▼田嶋 真紀

旅が好きで、世界の各地を旅したり暮らした体験から、私たちの暮らし方がどう世界に影響しているのか、物は私たちを幸せにしないのだ、ということも実感しました。 一人ひとりが自分の真に大切にしている想いや願いにつながり、そこから生きることが、私たち自身も、そしてこの世界も幸せにすることだと信じて活動しています。 SGのコミュニティのメンバー一人ひとりの力が生かされ、つながり、いっしょに豊かな新しい物語を作っていけるように、力を尽くしていきたいと思います。

▼野崎安澄

2015年末にチェンドリを受け、2016年に初めてGCIに参加した時、まさか自分が理事になるとは想像もしていませんでした。ほんの数年前の事なのに、人生って何が起きるか分かりませんね！今年は女性の副代表理事としてがんばります。よろしくお願いします。

Copyright @ Seven Generations. All Rights Reserved.

4.チェンジ・ザ・ドリーム　シンポジウム開催

2030SDGsゲーム×チェンジ・ザ・ドリーム シンポジウムコラボ開催 in京都（報告者：風かおる、岩崎仁志）

イワシくんプロジェクト＝京都で2030SDGsゲーム×チェンジ・ザ・ドリーム シンポジウムコラボ開催報告。
●風かおるより報告：
はじまりは「SDGsゲーム開催しません？」と岩崎仁志（イワシくん）に声をかけたこと。
そして2030SDGsゲームのファシリテーターでもある、赤塚丈彦（TAKE）、関口守（マモ）をご紹介しました。結果、チェンドリに熱いマモさん効果もあって「SDGs & チェンドリ＠京都」という画期的なプログラムに発展しました。

当日の午前中は「2030 SDGsカードゲーム」。ゲームは、世界のパラメータとして「経済」、「環境」、「社会」の状況が変化し、それを全員が把握できるようになっています。前半は圧倒的に経済が絶好調で環境や社会が破滅的な状況になりました。世界の状況が危機的な状況であることに皆が気づき、それぞれの目的やミッション、世界の状況を全員が把握して進めていきす。このプロセスで私たちが望む世界を作っていくための感覚が味わえるんです。

そして、午後はチェンドリです。しかも翌日は「プラネタリー」で〆るという合わせ技！ こんな経験をイワシくんに声をかけたらできたという「風が吹くと桶屋が儲かる」です。 この後も京都でも進めて行きます。 そして、東京にも！ お楽しみに！

●岩崎仁志より報告：
こんにちは、京都からいわしくんこと岩崎仁志です。
2017年の12月チェンドリFTを受けて、あれよあれよという間に話が展開していきました。風かおるさんからの紹介で、2030SDGsゲームのファシリテーターでもある、タケさん、マモさんとの出会いがあり、一気に話が急展開を迎え、気が付けば会社を巻き込んでの、SDGs＆チェンドリの開催となりました。
僕自身は、こういったイベントの企画は初めてで、沢山のサポートを頂きながらの開催ですが、ひとまず一歩が始まります。先のことはあまり考えずに、やっていく中で見えたことをまたやっていきたいと思っています。今後とも、みなさま、よろしくお願いします！！

ゲームで遊んで世界を知ろう『 2030SDGs』＆『私たちの夢から世界を変えるワークショップ』チェンジ・ザ・ドリームシンポジウム概要

1部：SDGsってなんでしょう？『2030年までに達成する持続可能な開発目標（SDGs）』は、後世に持続可能な世界を残すための目標として、国連が採択しました。そのSDGsを体感的に楽しく理解するゲームとして日本で作られたのがカードゲーム『2030SDGs』。SDGsの必要性や『SDGsって私とどう関係があるの？』そんなことを、遊びながらゲームを通して体験してゆきます。

2部：その体験をもとに、午後のチェンジ・ザ・ドリームシンポジウムでは『心の奥にある夢』に出会います。とっておきの映像や対話、簡単なワークを通して『持続可能で、公正で、ココロが満ち足りた世界』について探求するワークショップ。私たちが表層で見てきた夢によって『何が起きているのか？』『私たちにできることは？』などの問いをたどり、心の奥にある本当の夢を見つけるシンポジウムです。

今回のようにSDGsゲームとチェンジ・ザ・ドリームシンポジウムを一日かけて体験することで、あなたが望んでいる世界が鮮明に浮かび上がってくるでしょう。

Copyright @ Seven Generations. All Rights Reserved.

5.ゲームチェンジャー・インテンシブ（GCI）日本語版

パチャママ・アライアンスが提供しているオンラインプログラム「ゲームチェンジャー・インテンシブ」の日本語でのプログラム提供を2018年も引き続き行っていきます。

1月期は参加者およびモデレーターを含め47名のご参加を得ました。昨年2017年度の1,4,6,8月期と合わせ延214名のご参加となりました。期終了後も、Facebook内にGCI経験者コミュニティグループを作り、一つのコミュニティとして継続的に学びと対話を続けています。また6月期の準備のために、4月期の日本語での提供の中止を決め、日本語GCI専用サイトの完成を5月中に予定しています。

https://gci-japan.com/

2018年度もさらに多くの方々に提供していく計画を進めています。まだ未経験の方、ぜひご参加ください。

※GCIはチェンドリに参加して目覚めた人たちが、自分たちが望む世界を創っていくための具体的な行動力を身につけ、さらに、世界中の仲間たちと繋がる場をもつことを目的としたプログラムです。

【各回のテーマ】
モジュール1 :INTRODUCTION TO GAME CHANGING
（ゲーム・チェンジングへのイントロダクション）
モジュール2 :THE POWER OF STORY（物語の力）
モジュール3:EVOLUTIONARY ACTIVISM
（エボリューショナリー・アクティビズム進化的アクティビズム）
モジュール4:A CASE FOR GROUNDED OPTIMISM
（地に根ざしたオプティミズム）
モジュール5 :THE RIGGED GAME（八百□試合）
モジュール6 :GAME CHANGING MOVEMENTS:DEMOCRACY
（ゲームを変えるためのムーブメント民主主義）
モジュール7 :GAME CHANGING MOVEMENTS: CLIMATE CHANGE
（ゲームを変えるためのムーブメント気候変動）
モジュール8:GOING FORTH（前へ）

Copyright @ Seven Generations. All Rights Reserved.

6.セブン・ジェネレーションズ参加イベント

BeGood Cafe TOKYO vol.100への出展（報告者：秋山紀子）

東京の桜が満開に近づいた3月25日、BeGood Cafe vol.100 に出展してきました。Cafeの名の通りドリンクありオーガニックランチあり。オープンマイクでは私たちSGのような団体PRやポエトリーリーディングあり。岡野 弘幹さん山根 麻以さん他のライブありで、とてもアーティスティックな時間でした。
ブースでは、チェンドリ関連の書籍やエクアドルのワユサティ、チョコレートを販売しながら声をかけてくださる方々とお話しして、今後何か一緒にやろう！アースデイ（4/21/22）でまた会おう！など、これからのつながりが楽しみなたくさんの出会い、再会がありました。
何人かのチェンドリ ファシリテーターとも再会でき、さらに今までGCIのzoomでしかお会いしていなかった仲間も立ち寄ってくれ初めて直接会えたのもとてもうれしかったです！あの日、一人でも多くSGのことを知ってもらい、いろんな活動の形があるんだなと感じてもらえていたらうれしいです。
https://www.facebook.com/BeGoodCafeTokyovol.100/
http://begoodcafe.com/
※BeGood Cafeは昨年亡くなられた代表のシキタさんが「素敵ないいことはじめよう」と、いいことを語る場、集う場として1999年（ってことはおよそ20年前！）から続いてきたものです。当日はセブン・ジェネレーションズを知らない人に存在を知ってもらおう、リン・ツイストやGCIなどの紹介、そしていろんな活動をしている人たちと繋がろうと思っています。ぜひ遊びに来てください。Facebookページを見るだけでも、いろんな人たちが出てきていて面白いですよ！
※ブース担当として秋山紀子（のんたん）、磨井敦子（あっちゃん）、鳥谷部愛（LOVE）、法川繭子（繭ちゃん）の4人が、そしてのんたんとともに桑原康平（サウル）がオープンマイクを担当しました。

BeGood Cafe写真より

SG写真

Copyright @ Seven Generations. All Rights Reserved.

7.会員、その他の動向

Engawa Sumida 新年★異文化交流イベント（報告者：本間玲子、鈴木純子）

1月6日、11フェニックスの本間玲子（りょうちゃん）と鈴木純子（じゅんじゅん）が、スカイツリーの近くで『Engawa Sumida 新年★異文化交流イベント』という異文化交流＆ポットラック（持ち寄り）パーティーを開催しました。EngawaSumidaの異文化交流イベントでは、筑波大（チュニジア、ギニア）、麗澤大（ブルキナファソ）、芝浦工業（南スーダン）、横市大（アフガニスタン）の留学生、そして、一般日本人、在日外国人の方が参加されました。まずはじめに、好きな着物を選んで、スタイリストさんに着付けをしてもらい、みんなで着物を着て近くの神社にお参り＆撮影会に行きました。着物を着るのが夢だったという留学生はとっても嬉しそうにしていました。神社に行きましたが、お参りはちょっと難しいムスリムの子たちも、日本の神社の雰囲気を楽しめたようで良かったです。そして、写真撮影会のあとはみんなで食事。持ち寄った食事をみんなで分け合って「美味しいね」といいながら食べました。チュニジア料理も日本料理もおいしくいただきました。宗教上の理由でお肉が食べられない子たちも、代わりに魚や野菜を食べていました。そして、食後にりょうちゃんのオリジナル”Engawaワークショップ”を開催しました。会場である“EngawaSumida”という場所の名前にちなんで、日本の「縁側」について簡単に説明をした後、「縁側」をモチーフにした写真の中から1枚を選び、ペアになってお互いに選んだ写真を見て感じたことを語り合いました。出てきた感想としては、同じ写真を見ていても、お互いにまったく視点が違うことにびっくりしたり（日本人同士であっても違う）、日本人は古臭いと思ってみている日本家屋の写真を留学生はカッコいいと思っていたり、家の内側から外の景色を見るという習慣は自分の国にはないので日本独自の世界観だと思う、という話が出たり、自分の国の家の話はこんな感じなんだよ、という話をしたペアもあったようです。その後、小グループに分かれて、それぞれ「自分の故郷あるいは家族の話」をしてもらいました。自分のストーリーを語り、聴きあいました。英語を話すのが得意でない日本人参加者もいましたが、そこはあえて通訳なしで、話し手のエネルギー感を感じてもらうことに集中してもらいました。とても暖かい「団らん」のような場になりました。温度も暖かくて、なじんで、大きな家族・親戚が集まったような、そんな風景でした。知らない国の話を初めて聞いてとても身近に感じたとか、全く知らない人を相手に、過去の自分の苦しかった経験を話した留学生もいましたが、自ら語って聴いてもらったことで、傷が癒されたような気がすると言ってくれました。 http://www.refashion.jp/

■じゅんじゅん コメント
自分のアジトで、国籍や文化、年齢を超えて皆が笑顔でつながって暖かい場ができるといいなあとずっと思っていたので、その願いが叶ってとても嬉しいです。
■りょうちゃん コメント
私自身が見ている世界は、こんな国際色豊かな多様性が普通の世界です。お互い異なる文化を持ち、価値観も宗教も違う。もっとお互いにつながることで、平和がもたらされると思っています。
＜留学生の感想から抜粋＞
・このようにいろんな文化の人たちと深く繋がれたことが本当に良かった。日本に来て受け入れてもらえず悲しいこともあったが、今日はこうして対話ができて、友達ができてとても嬉しい。
・着物をずっと着てみたいと思っていたが、その願いが叶ってとても嬉しい。いつも研究に追われ、毎日ストレスフルに過ごしているので、とても楽しい時間が過ごせて非常にリフレッシュできた。
＜日本人参加者の感想から抜粋＞
・メディア（ネガティブなニュース）を通してしか知らなかった国について知ることができて、とても身近に感じることができた。
・なかなか会えない国の方との出会いと、深い繋がりができた。

Engawa Sumida写真より

Copyright @ Seven Generations. All Rights Reserved.

8. 最後に

2018年1～3月の活動をふり返り、ご挨拶申し上げます。
NPO法人セブン・ジェネレーションズの総会を2月11日に開催しました。
今回の総会にて、理事の鳥谷部愛と丸山まゆみが退任し、代表理事の宇佐見博志が重任、新任6名を含む7人が新理事となりました。事務局長を新設し、小泉正信が理事と兼任します。

今年はチェンジ・ザ・ドリームシンポジウムが日本に上陸して10年目の節目の年。セブン・ジェネレーションズでは『チェンドリ10周年』の一年に向けて、色々な企画を考えております。例えば、
l 9/8-9（土・日）、トランジションタウンと合同で、10周年を祝うイベント
l 12/15（土）午前中、リン・ツイストを招いてのオンラインイベント
さらに、
1）会員管理を効率化し、会員の皆さまとの関係性を深めていく
2）チェンドリの開催が各地で活性化するよう盛り上げていく
3）セブン・ジェネレーションズの活動を広報で知って頂く
など、様々な活動を積極的に進めていきます。

お金最優先の現代社会の夢を、つながりや分かち合いを基にした地球と人の命と幸福感が最優先される新しい社会へ移行する夢へ変容させていく活動を、皆さまと一緒に進めてまいります。どうぞよろしくお願い致します。

法人概要

1. 名称

特定非営利活動法人セブン・ジェネレーションズ

2. 成立

2011年3月15日

3. 所在地

東京都新宿区

4. 連絡先

メールアドレス　info@sevengenerations.or.jp

5. 会員数（2018年3月末時点）

正会員個人　75名　正会員団体　1団体
賛同会員個人　50名　賛同会員団体　1団体

6. 組織

代表　理事　宇佐見博志
副代表理事　野崎安澄　桑原康平
理　　事　小泉正信　佐藤さわ　関口守　田嶋真紀
監　　事　由佐美加子　大山裕之

（編集責任者：野崎安澄・佐藤さわ・桑原康平）

Copyright @ Seven Generations. All Rights Reserved.